



●プロフィール

東京工業大学は国立大学で、工業立国を模索する明治政府が、専門技術の素養を備えた優れた職工長・工業教員の養成を目的に設立した、学制下での最初の工業教育機関、東京 職工学校を母体としています。現在は、伝統的な理工学に加え、情報系、バイオ系、社会・経営系をカバーする理工系総合大学となっています。「世界最高の理工系総合大学の実現」という長期目標を掲げ、「国際的リーダーシップを発揮する創造性豊かな人材の育成」「進化する創造性教育」などを目的としています。

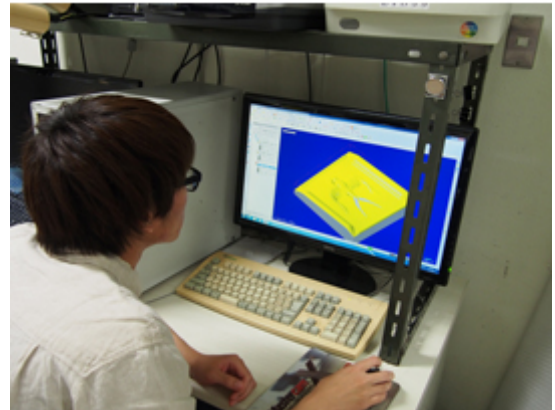
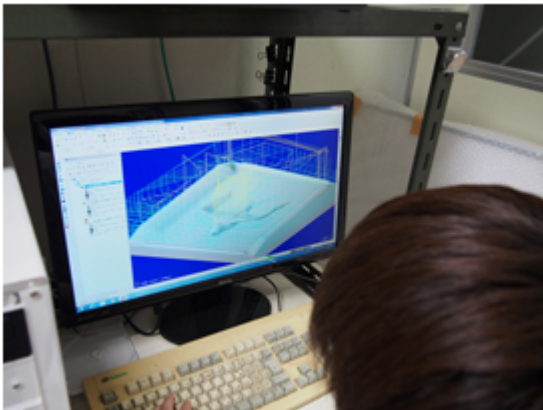
◎機械制御システム専攻 知的統合生産分野 齋藤田中研究室
「生産技術に関することを何でも貪欲にやっつけていこう」と研究に取り組んでいます。

研究テーマ：

1. CAD/CAM CAMにどういったナレッジを入れていくか探求し、初心者でも効率的に使いやすくするのを目指す。
2. ものづくり レーザー加工
3. 生産スケジュール 工程設計

●JBM製品導入のメリット

JBMのMastercamは長期に渡り様々な工作機械メーカーのポストプロセッサの提供実績があるので、安心して使えています。現状一品物の加工が多く、実験用の部品も自分達で作っています。現場（工場）でプログラミングから加工までをやるより、こちら（研究室）でプログラミングを作成して、現場（工場）にNCデータ込みで加工をお願いすると、とても早くでき、安くあがっています。



●JBM製品活用

産学連携プロジェクトでターニングセンターを導入し、工作機械メーカー様の講習で、その機械とやりとりができるCAMと

●Mastercamを紹介いただき、CAD/CAMで機械加工の工程設計を最適化する為にMastercamを導入しました。

●研究の中でツールパスを作って、他のCAMで作ったパスと比較して検証しています。

●今後の展望など

様々な工作機械に対応するMastercamの機能をNCシミュレーションソフトと共に活用していく予定です。